



泉屋
博古館
東京

THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, TOKYO

Flowers in Vases

花器のある風景



2025
1.25 sat → 3.16 sun

【開館時間】11時～18時 ＊金曜日は19時まで開館 ＊入館は閉館の30分前まで
【休館日】月曜日、2月25日(火) ＊2月24日(月)振替は開館
【入館料】一般1,200円(1,000円)、学生600円(500円)、18歳以下無料
＊学生・18歳以下の方は証明書をこ显示ください ＊20名様以上の団体は()内の割引料金
＊障がい者手帳等/皇宗のかたはご本人および同伴者1名まで無料
【主催】公益財団法人泉屋博古館、日本経済新聞社

同時開催 受贈記念「大郷理明コレクションの花器」(大郷理明コレクションのみ 2月17日に一部展示替えあり)

Scenes 花器のある風景



原在中・在明画 冷泉為泰・為章賛《春花図》絹本着色
江戸時代・19世紀 泉屋博古館

日本における花器の歴史は、中国より寺院における荘嚴の道具として伝来したのがはじまりとされます。室町時代には連歌や茶会、生花など室内芸能がさかんになり、中国から輸入された唐物と称される書画、調度類や茶道具、文房具を座敷に並び立てる「座敷飾り」が発展します。床の間の飾りには、唐物の花生・香炉・香合・天目などが飾られました。

茶の湯の世界でも、清浄なる空間を演出するものとして、花器は重用されました。唐物の金属製の花器をもとに、日本でも中世以降、陶磁器や竹など様々な素材で花器が作られ、日本独自の美意識が誕生します。住友コレクションには、室町時代の茶人、松本珠報が所持したとされる《砂張舟形釣花入 銘松本船》、江戸時代の茶人、小堀遠州ゆかりの《古銅象耳花入 銘キネナリ》などの花器が伝世します。本展では、住友コレクションから花器と花器が描かれた絵画を紹介します。同時開催として、華道家・大郷理明氏よりご寄贈頂いた花器コレクションも紹介します。あわせてお楽しみください。

(大郷理明コレクションのみ二月十七日に一部展示替えあり)



《砂張舟形釣花入 銘松本船》15～16世紀
泉屋博古館東京



《古銅象耳花入 銘キネナリ》
元時代・14世紀 泉屋博古館東京



《青磁筍花入》南宋～元時代
13～14世紀 泉屋博古館東京



椿椿山《玉堂富貴・遊蝶・藻魚図》のうち《玉堂富貴》
江戸時代・天保11(1840)年 泉屋博古館



村田香谷《花卉・文房花果図巻》明治35(1902)年 泉屋博古館東京



横河九左衛門《紫銅牛形薄端》19世紀
大郷理明コレクション 泉屋博古館(通期)



大島如雲《松竹梅図寸筒》19-20世紀
大郷理明コレクション 泉屋博古館(通期)



浦上春琴《蔬果蟲魚帖》江戸時代・天保5(1834)年 泉屋博古館



《高取花入 銘出山》江戸時代・17世紀
泉屋博古館東京

同時開催 受贈記念「大郷理明コレクションの花器」

ラーニング・プログラム

記念講演会「近代の銅花器にみる鑄造技術」

2月1日(土) 14:00～15:00 (要事前申込)
【講師】三船温尚氏(富山大学 芸術文化学部名誉教授)

講演会①「金属器をやきものへ」

2月15日(土) 14:00～15:00 (要事前申込)
【講師】戸田浩二氏(陶芸家)

講演会②「近代銅花器の源流」

2月16日(日) 14:00～15:00 (要事前申込)
【講師】廣川守(泉屋博古館館長)

ワークショップ「竹花入をつくってみよう」

3月2日(日) 13:00～16:00 (要事前申込)
【講師】池田瓢阿氏(竹芸家)
【参加費】8,000円(入館料別) 【定員】15名
【内容】竹を切り、自分だけの花入を制作します。

※イベントへの参加には、全て当日の観覧権が必要です。
※各プログラムの詳細、お申し込みについては当館ウェブサイトをご覧ください。
※予約制プログラムは1月8日(水)正午よりホームページにて受付開始予定(先着順)。

〈アートWith〉レクチャー「世にも楽しいミュージアムグッズの世界」

2月14日(金) 17:30～18:30 (要事前申込)
【講師】花光弘之氏(株式会社アートボックス代表取締役)
【聴講料】500円(入館料別)

学芸員によるスライドトーク (予約不要・当日整理券配付)

- 1 「住友コレクションの花器」
2月6日(木) 12:00～12:45
【講師】森下愛子(泉屋博古館東京主任学芸員)
- 2 「近代銅花器のみどころ」
2月11日(火・祝) 14:00～15:00
【講師】廣川守(泉屋博古館館長)
- 3 「描かれた花器」
3月6日(木) 12:00～12:45
【講師】田所泰(泉屋博古館東京学芸員)



泉屋博古館東京
SEN-OKU MUSEUM TOKYO



【アクセス案内】
●東京メトロ・南北線「六本木一丁目」駅下車北改札正面出口より屋外エスカレーターで3分 ●日比谷線「神谷町」駅下車・4b出口より徒歩10分 ●銀座線「溜池山王」駅下車・13番出口より徒歩10分

